

報告資料 4

昭島市民図書館における「りんごの棚」の設置について

1 「りんごの棚」とは

りんごの棚は、特別な配慮を必要とする子どもを対象とした公共図書館サービスの一つです。1993年にスウェーデンの図書館で始まり、世界各地に広がっています。

名前の由来は、りんごの棚を考案した図書館にある、特別な配慮を必要とする子ども向けのおもちゃからきています。

読書バリアフリーを目指す取り組みの一つとして、りんごの棚を設置します。

2 設置日

2月4日（火）～（常設）

3 設置場所

市民図書館 1階

4 資料の紹介

（1）L L ブック

短い文章と写真や絵、ピクトグラムで構成されています。

「L L」は、スウェーデン語で「やさしく読める」の略語です。

（2）点字の本

触って読む文字（点字）で書かれた本です。図形や絵に凹凸がついており、触れて形などを確かめることができるよう工夫しているものもあります。

（3）大活字本

通常より大きな文字が印刷された本です。

（4）布絵本

貼ってはがせるマジックテープや、引っ張って遊ぶゴムひもなど、触って楽しめるしおりがついたものもあります。

（5）マルチメディアディジタル図書

音声を聞きながら、文字や絵を見ることができるデジタル図書です。

5 その他

図書館スタッフ手作りのリーディングトラッカー（視覚障害などのある方の読書補助具の一つ）を500部用意し希望する利用者に配布します。





りんごの棚って？

ほん じょうたい よ よ
本をそのままの状態では「読めない」「読みにくい」
こ ほんだな
子どもたちのための本棚です。

とくべつ こ どくしょ よろこ
「特別なニーズのある子どもたちに読書の喜びを」と
ねが としょかん う
いう願いのもとスウェーデンの図書館で生まれました。
ほん ひら じぶん よ
いろいろ本を開いてみて、自分にあった読みやすい
ほん たな み
本をりんごの棚で見つけてくださいね。

さわって
えほん
たのしむ絵本
てんじ ほん
点字の本
ぬのえほん
布絵本

しゅわ ほん
手話の本

おお
大きな
もじ ほん
文字の本
だいかつじほん
大活字本

しょう
障がいに
ほん
ついての本

マルチメディア
デイジーとしょ
DAISY図書

かんたん
ぶんしょう
文章で
か ほん
書かれた本
エルエル
L Lブック